

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいさーびす あいりんご6			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	26名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の特性に合わせた支援プログラムが設定されている。こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。プログラムも固定化されないようになっている。	プログラム立案では専門職の意見も取り入れながら、利用児童の発達課題を捉えた支援を行っている。利用児童に対する関わり方も職員同士で共有しながら、児童一人一人にあわせた支援を行っている。	より個々の発達段階にあわせた支援を行っていくために、集団ばかりではなく個別での支援もさらに重点的に行えるように職員の配置を考え、指示出しをしていく。
2	利用児童のほとんどが通所を楽しみにしており、保護者からも安心感を持たれている。	利用児童が楽しめるように活動プログラムはもちろん、日々の関わり方も職員から明るく楽しく関わられるようにしている。利用児童の訴えにも真摯に受容・共感をしている。	利用児童が主体的に活動などに参加できるように、主体的になにをしたいか等を決めてもらうようにしてもよいのではないかと思った。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています。	毎日送迎も行ってあり、日ごろから保護者とのコミュニケーションはできています。特に相談された場合は、話を聞くだけでなく、他の職員と共通認識となるように報告をしている。	全ての職員が質の高い相談をできるように、研修などにも積極的に参加をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内のバリアフリー化、児童たちが心地よくすごしやすい環境であるかが、保護者間で認識されていない。事業所前に階段があるので小さい子は危ない。	手すりなどはつけているが、階段や段差が多く小さい子や身体的に不器用さがある子には少し危険な印象を持たれているか。また事業所内を見学する機会が見学・契約時のタイミングしかないため、保護者からのイメージが弱いと考える。	段差などを減らしていけるところは、福祉用具も取り入れていきながら設置していきたい。また現在利用されている児童の保護者も事業所内を見学できる機会を増やしていきたい。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるのかわからない。	法人内で年に一度、外部の方も含めた大きなイベントをすることはあるが、地域の他の子供たちとの交流は実際のところあまりない。	地域交流の一環で事業所利用児と地域の子供たちが、関われるイベントの開催を社内で提案してみる。
3	防災訓練の実施、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定されたことへの保護者に周知・説明が不十分。	マニュアルは作成しているが、保護者などに配布しておらず、情報の共有や説明などが不十分になっている。	万が一に備えて、保護者にも事業所で策定されたマニュアルや避難訓練の取り組みを積極的に公開出来たらいいか。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 できさーびす あいりんご6

公表日 2025年3月26日

利用児童数 30

回収数 26

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	54%	15%	0	31%	施設をあまり見たことがないのでわかりません	見学できる機会を設けていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	38%	29%	0	38%	施設をあまり見たことがないのでわかりません	見学できる機会を設けていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15%	23%	0%	62%	施設をあまり見たことがないのでわかりません	見学できる機会を設けていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	62%	0%	8%	15%	清潔感に付ける。特にトイレ	利用者様が快適に過ごせるように、掃除を徹底していきます
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	92%	8%	0	0	専門性のある支援を受けれていると思う	今後も勉強会などを通し自己研鑽してまいります
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	92%	8%	0	0%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	77%	8%	0	15%		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	77%	8%	0	15%		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	77%	15%	0	8%		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	92%	8%	0	0	平日に外に出かける機会を増やして欲しい	公園での外遊びなどプログラムに多くとり入れていきます
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	23%	0	15%	62%	よくわからない	地域の児童とも触れ合う機会などを持ってるように関係機関と話し合います
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	92%	0	8%	0	説明はありました	今後も契約時の説明を丁寧にいたします
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	85%	0	0	15%		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23%	8%	31%	38%		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	92%	0	0	8%		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	46%	31%	8%	15%		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	77%	15%	0	8%		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	15%	8%	46%	31%		
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	62%	23%	0	15%			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	69%	23%	0	8%		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	69%	23%	0	8%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	85%	0	0	15%		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31%	0	15%	54%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31%	15%	0	54%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	46%	0	0	54%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	77%	0	0	23%		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%	0	0	0	安心感を持っていると思う	今後も安心して通える事業所を目指していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	85%	15%	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	85%	15%	0	0	土曜日も預けられるようになってほしい。	土曜日開所に関しては、ニーズも多いので検討をしていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		でいさーびす あいりんご6		公表日		R7年 3月 26日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	60%	40%	人数が多いときは療育部屋や勉強部屋も使い広くしている	人数が多いと狭いと感じる。限られた空間を上手に使えるようにする。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	30%	70%	配置基準は適切にしているが、障害が重度だと職員数が少なく感じる	子どもの状態によって柔軟に人員を配置するようにする。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60%	40%	行動障害のある人には絵カードでの行動表をつくるなど配慮はしている。	事業所間に階段があるため危険を感じる場面がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日必ず清掃、物品整理をしている。	とくになし	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	個別での対応が必要な場合は個室での対応をしている。	とくになし	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	毎日必ず申し送りをしている。	非正規職員に対してはあまり対応ができていない場面がある	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	保護者向けの評価表の内容は各職員に周知している。	とくになし	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	意見は出すが、あまり変わらないことが多い。	職員の意見に向き合い、改善できるところは改善をする	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	60%	40%	とくになし	今後は取り入れていく	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月行っている	とくになし	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	プログラムは多職種で考えていき予定表にて公表している	とくになし	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	ニーズも把握したうえで適切に行っている	とくになし	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	80%	20%	ケース会議を開催している	とくになし	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	80%	20%	共有するためのケース会議を開催している	計画に沿った支援を適切に行いたい	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	あまり使用できていない場面もある	評価ツールの勉強会などを開催していく	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	5領域に沿った支援内容を設定している	とくになし	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	行っている	とくになし	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	毎日違うプログラムにすることで刺激を取り入れている	とくになし	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	個別・集団での支援を行えている	とくになし
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	毎日必ず行っている	とくになし
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	振り返りは翌日に行っているが、振り返り自体は毎日できている	とくになし
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録が遅れる場面があるが、期日を設定して行えている	遅れないように業務分担していく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	モニタリングは毎月漏れがなくできている	とくになし
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	複数組み合わせた支援を行っている	複数組み合わせた支援を行っている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	無理強いをさせず、子供たちに活動を提案する機会も設けている	とくになし
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	できている	とくになし
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	教育機関とはとれているが、医療・保健機関との連携は不十分	連携できるようにしていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	ダブルチェックなどで送迎ミスを減らしている	今後も継続していく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%	児童発達支援との共有はできている	今後も継続していく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	80%	20%	あまりそういったケースがないが、法人内での移動ではしっかりと情報共有をおこなっている	連携できるようにしていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	80%	20%	あまり参加できていない	参加できる機会を設けていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	あまり参加できていない	参加できる機会を設けていく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	60%	40%	参加している	とくになし
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	話し合いは大切にしている	とくになし
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	60%	40%	あまりできていない	参加できる機会を設けていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に重点的に説明している	とくになし
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	80%	20%	設けている	とくになし
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	説明と同意はしっかりとるようにしている	とくになし
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	相談支援も行っている	とくになし

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	保護者会は開催できていない	保護者会など企画していきたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	迅速かつ適切に対応できている	とくになし
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	HPやSNS等で発信している	とくになし
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	80%	20%	毎月取扱いに関してチェックリストを用いて確認するようにしている	とくになし
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	している	とくになし
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	毎年1回地域住民も参加できる行事を行っている	とくになし
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	実施している	とくになし
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを作成して行っている	とくになし
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に確認をしている	とくになし
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時に確認している	とくになし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80%	20%	できている	とくになし
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	できている	とくになし
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	毎月事例報告の共有を行っている	とくになし
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	毎月1回チェックリストを用いて対応をしている	とくになし
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に説明しており、記載もできている	とくになし	